



JRA

## THE FUKUSHIMA HIMBA STAKES

## 第22回 福島牝馬ステークス (GⅢ)

1着 2着 3着 4着 5着  
本賞 40,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,000,000円 4,000,000円  
付加賞 567,000円 162,000円 81,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

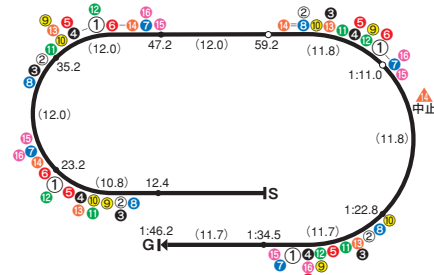
牝、4歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 55%、2024.4.13以降GⅠ競走1着馬3%増、GⅡ競走1着馬2%増、GⅢ競走1着馬1%増、  
2024.4.12以前のGⅠ競走1着馬2%増、GⅡ競走1着馬1%増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.4.20 福島 曇・良 芝1800m (国際) (確定)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	①	アドマイヤマツリ	牝4	55	田辺裕信	1:46.2	6-6-4-3	34.6	452(+2)	3.8①	宮田敬介(美浦)	106
2	⑤	フェアエールング	牝5	56	丸山元気	2	8-8-8-9	34.6	454(-2)	10.4⑥	和田正一郎(美浦)	104
3	④	フィールシンパシー	牝6	55	横山琉人	クビ	9-8-8-4	34.7	456(-6)	14.3⑧	小島茂之(美浦)	101
4	⑧	アリスヴェリテ	牝5	56	三浦皇成	¾	5-5-4-4	35.1	472(+2)	15.9⑨	中竹和也(栗東)	102
5	⑪	シンリョウカ	牝5	56	木幡初也	クビ	11-13-10-10	34.5	464(-4)	9.2⑤	竹内正洋(美浦)	
6	⑦	アマイ	牝5	55	丸田恭介	¾	2-2-2-2	35.7	460(±0)	71.8⑬	伊藤大士(美浦)	
7	③	ジューンオレンジ	牝5	55	荻野 極	1½	14-15-11-11	34.6	454(-10)	8.9④	長谷川浩大(栗東)	
8	②	ライラック	牝6	55	石川裕紀人	¾	14-14-14-13	34.4	442(-4)	7.7③	相沢 郁(美浦)	
9	⑨	アスコルティアーモ	牝5	55	菊沢一樹	ハナ	1-1-1-1	36.2	464(+8)	35.7⑩	林 徹(美浦)	
10	⑥	セキトバイースト	牝4	55	吉田準人	クビ	13-10-6-7	35.5	454(±0)	11.9⑦	四位洋文(栗東)	
11	⑩	グランスラムアスク	牝6	55	古川奈穂	クビ	16-16-14-14	34.5	460(-8)	166.5⑭	矢作芳人(栗東)	
12	⑫	ホーエリート	牝4	55	原 優介	ハナ	6-6-6-7	35.6	482(+4)	4.5②	田島俊明(美浦)	
13	⑬	ガジュノリ	牝4	55	武藤 雅	¾	9-10-11-11	35.1	474(-4)	37.5⑫	尾形和幸(美浦)	
14	⑭	ベシヤフフラワー	牝5	55	永島まなみ	4	2-2-2-4	37.0	466(±0)	157.2⑮	高橋康之(栗東)	
15	⑮	ミスカッセラ	牝4	55	御神本訓史	大差	11-10-13-15	37.9	490(-10)	250.1⑯	川島正一(船橋)	
牝	⑬	ラズベリームス	牝6	55	小沢大仁	4-4-16		512(±0)	33.6⑪	林 徹(美浦)		

単勝①380円(1%) 複勝①180円(2%) ⑤310円(6%) ③340円(7%) 枠連①-③780円(2%)  
馬連①-⑤1,710円(5%) ワイド①-⑤770円(7%) ①-④870円(9%) ④-⑤1,620円(23%)  
馬単①-⑤2,640円(5%) 3連複①-⑤7,180円(26%) 3連単①-⑤②5,430円(54%)



通過タイム： 600m 800m 1000m 上り： 800m 600m  
35.2 - 47.2 - 59.2 47.0 - 35.2

### アラカルト

- ・田辺裕信騎手は福島牝馬S初勝利。この勝利により、現在福島競馬場で実施されている4つの重賞競走を完全制覇(本競走が創設された04年以降では初)。JRA重賞通算46勝目
- ・宮田敬介調教師は福島牝馬S初勝利。JRA重賞通算6勝目
- ・キタサンブラック産駒はJRA重賞通算20勝目
- ・ラズベリームスは競走中に疾病(右第3手根骨複骨折)を発症したため3コーナーで競走中止
- ・非当選馬 1頭(カウオンセカ)
- ・非抽選馬 1頭(ピンクジン)
- ・アドマイヤマツリはヴィクトリアマイル(GⅠ)に優先出走できる

# アドマイヤマツリ *Admire Matsuri*

牝 黒鹿毛 2021.2.6生  
北海道日高町 スマイルファーム生産  
馬主・近藤旬子氏 美浦・宮田敬介厩舎  
馬名意味・冠名+祭り

シーズライクリオUSA系 F9-I

キタサンブラック 鹿毛 2012	ブラックタイド 黒鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	シュガーハート 鹿毛 2005	サクラバクシンオー オトメゴコロ
	アドマイヤムーン 鹿毛 2003	エンドスウィープUSA マイケイティーズ
アドマイヤナイト 栗毛 2012	アドマイヤカグラ 栗毛 2007	スペシャルウィーク シーズライクリオUSA

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA S3×M4×M4  
Lyphard S5×S5

## INTERVIEW

中村広樹代表(スマイルファーム)

### 「マツリ！ よくやった!!」のひと言です

繁忙期ですので妻と一緒にテレビで観戦しました。「マツリ！よくやった!!」のひと言です。無事に競走馬になれたこと自体が生産者として大きな喜びですが、さらに重賞にチャレンジできたのは近藤旬子オーナーのお陰です。母アドマイヤナイトは繊細な性格で、厩にも厳しく、マツリはついでにいくのに必死だった記憶が強いです。母に鍛えあげられた子かもしれません。

JRA



モは同型馬を従えてスナナリと先手を奪い、平均ペースの逃げを打つ。最内枠を引いたアドマイヤマツリは中団のインで流れに乗り、対抗候補と目された中山牝馬Sの2着馬ホーエリートがその外を追走。牡馬混合のGⅡで揉まれてきた経験値も評価され、3番人気の支持を集めたライラックは馬群の後方で末脚勝負に構えた。

現在、福島競馬場で行われている4つの重賞のなかで最も歴史が浅い福島牝馬Sが創設された2004年以降、4つの重賞を完全制した騎手はこれまでになかった。しかし今年のレースには他の3つの重賞(七夕賞、ラジオNIKKEI賞、福島記念)をすでに勝っている田辺裕信騎手が、1番人気の支持を集めたアドマイヤマツリとのコンビで参戦し、快挙の成否が焦点のひとつに。福島県出身のご当地ジョッキート重賞初挑戦の新星は背負った期待に応え、見事に勝利を飾った。

逃げ候補が散在し、激化も予想された先行争いだが、外枠から一枚上のダッシュで飛び出したアスコルティアー先に抜け出しをはかったアマイを楽々とかわし、中団から追い込んだフエアールング以下に2馬身差をつけて完勝のゴールに飛び込んだ。

## 人馬ともに期待に応える見事な勝利

### 父キタサンブラック

北海道日高町 ヤナガワ牧場生産 詳細はP.24参照

### 母アドマイヤナイト

北海道新登町 新冠橋本牧場生産 中央30戦4勝(千葉日報杯、別府特別)

アドマイヤメーゼ(20 牝父ロードカナロア)中央1戦0勝

アドマイヤマツリ 本馬(21 牝父キタサンブラック)中央9戦5勝(福島牝馬

S<sup>GⅢ</sup>、スピカS、オリエンタル賞)獲得総賞金100,521,000円

アドマイヤフク(23 牝父アドマイヤマーズ)

※22、24(不受胎)、25(流産)

### 祖母アドマイヤカグラ

北海道白老町 ㈱社台コーポレーション白老ファーム生産 中央0勝。23年用

途変更

アドマイヤナイト(12 前出)

キングラディウス(13 牝父キングカメハメハ)中央3勝、地方9勝

ストームフレイバー(14 牝父クロフネUSA)地方6勝

ローレルアイリス(17 牝父アドマイヤムーン)中央3勝(ファイナルS、会津

特別)、地方3勝

アンジュアムール(20 牝父アドマイヤムーン)中央0勝、地方2勝

### 曾祖母シーズライクリオUSA

北米2勝(ラッキーラヴエンダーガールH3着)、06年輸入、15年用途変更

シーサイドリトリート Seaside Retreat(03 牝父King Cugat)北米7勝(ニ

ジンスキーS・加<sup>G2</sup>、ディスプレイS・加L、チャーレイバーレイS・

加L、ヴァージニアダービー・米<sup>G2</sup>2着、レーンズエンドS・米<sup>G2</sup>2着、

スカイクラシックS・加<sup>G2</sup>2着、オープニングヴァーズH・米L2着、ノ

ーザンダンサーターフS・加<sup>G1</sup>3着、キングエドワードH・加<sup>G2</sup>3着)

アドマイヤカグラ(07 前出)

サダムグランジュテ(08 牝父キングカメハメハ)中央5勝(初日の出S、鶴見

特別)、地方0勝、ナイトキャッスル(萩S・L2着)、ロコボルディ ㊞

(平城京S<sup>OP</sup>、伊勢S)、アルセスト(岩船特別)の母

リオグランデ(10 牝父ディーブインパクト)中央1勝

### 母の父アドマイヤムーン

北海道早来産 中央、首、香10勝(ジャパンC<sup>GⅠ</sup>、宝塚記念<sup>GⅠ</sup>、ドバイデュー

ティフリー<sup>GⅠ</sup>、京都記念<sup>GⅡ</sup>、札幌記念<sup>GⅡ</sup>、弥生賞<sup>GⅡ</sup>、共同通信杯<sup>GⅢ</sup>)

[BMS代表産駒]ノースブリッジ ㊞(札幌記念<sup>GⅡ</sup>、父モーリス)、アドマイヤ

マツリ(本馬)、ニューモニュメント(ジュライS・L、父ヘニーヒューズUSA)